

医師引き継ぎ時に DNARが判明した事案

DNAR : Do Not Attempt Resuscitation
「成功しないであろう心肺蘇生を、あえて試みるな」という指示

西消防署菊間分署 本宮 康徳

1

事案

- 覚知 平成26年12月下旬
午前 6:29
- 場所 小規模多機能型居宅介護施設 3階
- 通報内容 入居者の女性が、椅子に座って会話中
急に倒れ、意識がなく、呼吸もしていない。
- 人定 84歳 女性 腎疾患(A病院掛かり付け)

現場到着時の状況

- 傷病者接触 6:40
- 施設内3階の床に仰臥位、心肺停止状態
- 施設職員による心肺蘇生はない。

3

現場活動内容

- 心肺蘇生開始(初期波形...心室細動)

- 気道確保
6:45 LT#3 確保成功



- 静脈路確保
6:46 右前腕 22G 確保成功



- 薬剤投与(アドレナリン)
6:49 1回目
6:53 2回目



4

A病院

- 腎疾患(病名不明)で掛かり付け
- 何らかの異変が発生した場合、施設職員はA病院へ連絡することとなっている。
- 既にA病院への連絡は実施済み。
- A病院へ上記を確認し、搬送先が決定する。

5

救急車内

- 搬送に要した時間
車内収容から 8 分間
- 7:02 総頸動脈に脈拍を触知



6

病院到着時

- 7:04 到着
- 病院到着時には**橈骨動脈で触知可能な状態**まで自己心拍が回復する。
- 医師から、DNARの意思表示があることを聞く。

7

病院処置

- 酸素投与の継続のみ
- 救命処置はせず(心電図を装着し)
心臓停止まで見守る

到着時刻 7:04

死亡時刻 7:27

8

介護施設

医療機関との話し合い

DNARの理解

9

医療機関

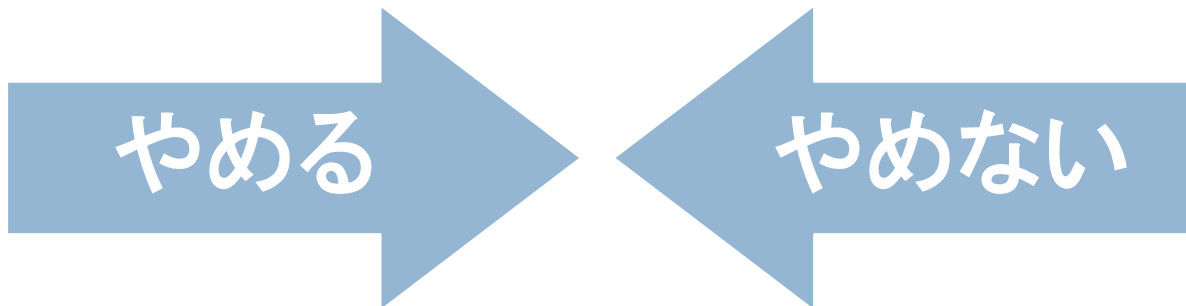
家族・施設・医療機関での
話し合いは

救急隊へのDNARの情報
提供は

10

救急隊

現場でDNARの情報を得られていたら



11

必要なことは・・・

**早期に情報を得られる
システムづくり**

12